

# 新小谷木橋 NEWS

【Vol.7】 令和2年1月発行 編集：岩手県南広域振興局土木部



世界遺産平泉  
PRキャラクター「ケロ平」

岩手県が「復興支援道路」として奥州市水沢で整備を進めている一般国道397号小谷木橋工区について、「事業の見える化」の取組みとして現在の進捗状況等をお知らせします。

## ～（仮称）新小谷木橋上部工が閉合（連結）しました！～

一般国道397号小谷木橋工区では、架橋から60年以上が経過して老朽化が著しく、幅員が狭く車両のすれ違い困難な交通隘路となっている小谷木橋（595.3m）の架替を行います。

新しい橋（（仮称）新小谷木橋：597.0m、以下「新小谷木橋」という。）は、現在の小谷木橋から約130m上流に建設中であり、平成27年11月から下部工工事を進めて来ましたが平成30年9月までに全ての下部工（橋台2基、橋脚9基）が完成しました。

上部工工事は平成30年12月から架設工事に着手（工事受注者：JFEエンジニアリング㈱・北日本機械㈱特定共同企業体）し、令和元年6月末で右岸側（A1～P6）をクレーンベント工法で施工し架設完了、令和元年12月末で左岸側（P7～A2）を送り出し工法で施工し架設完了、令和2年1月17日の桁架設作業（P6～P7）を持って閉合（連結）いたしました。

今後は、グレーチング床版架設・床版コンクリート打設・照明設備・橋面舗装等の整備を進めて参ります。

令和2年1月17日 閉合（連結）









## ～常盤地区、羽田地区の方を対象とした現場見学会を開催しました！～

小谷木橋工区では、令和2年1月17日に（仮称）新小谷木橋の桁閉合作業に合わせ常盤地区振興協議会、羽田地区振興協会の方々を対象とした現場見学会を開催しました。

当日は朝から雪が降っており、作業への影響が心配されましたが、作業開始前には雪も止み、最も心配された風も吹くことなく、無風の状態で作業することができました。

現場見学会には、両地区併せて約50名の参加をいただいたほか、小谷木橋上や両岸橋台付近から見学する方々も見られました。

架設作業の開始に当たり、参加者全員で作業開始号令を行い、桁架設作業を開始しました。

550tクレーンにより吊り上げられた最終ブロック桁（L=36m、重量54t）は、約20分間の作業により、無事所定位置に架設され作業は無事終了しました。

### 参加者の皆様



### 土木部 挨拶



### 受注者より作業説明



### 参加者全員での作業開始号令





550t クレーンによる架設作業



右岸 (A1) 側から左岸 (A2) 側を望む



【問合せ先】

岩手県 県南広域振興局土木部 道路整備課

〒023-0053 岩手県奥州市水沢大手町1-2

三陸復興

電話番号：0197-22-2881 (内線 351)